

FLASH

ポラスグループ 住宅資材センター

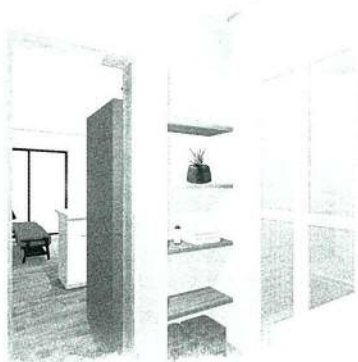
設計提案を伴うリフォームを推進 今春、ショールームもオープン

ポラスグループの住宅資材センターでは、グループ全体の設計力や調達力を活かしながら、メンテナンス系リフォームだけでなく、設計提案を伴うリフォームを推進していく方針だ。今春には埼玉県越谷市にリフォームのためのショールームも開設する予定。

ポラスグループでは、リフォーム専門会社である「ポラスのリフォーム」をはじめ、様々なグループ企業がリフォーム事業を展開している。このうち住宅資材センターでは、ポラスグループが供給した住宅だけでなく、一般市場でのリフォーム事業も行っている。しかし、その多くは故障や老朽化に伴うメンテナンス系のリフォームであり、リフォーム事業の拡充に向けて新たな分野のリフォーム需要の開拓が求められていた。同社リフォーム部の増田浩之部門長は、「リフォームの場合、どうしても“有”から“有”を生むという意識がある。しかし、新築の場合、“無”から“有”を生む出す必要がある。リフォーム市場でもお客さまから言われた部位だけをリフォームするだけでなく、“無”から“有”を生むという意識で、設



住宅資材センターでは、設計提案を伴うリフォームを推進していく



リフォームであっても注文住宅のような提案書などを作成

計提案を伴うリフォーム需要を取り込んでいく必要がある」と語る。

注文事業や分譲事業のノウハウを最大活用

設計提案を伴うリフォームの推進に向けて、ポラスグループのノウハウを最大限に活かしていく方針だ。ポラスグループでは、主力の分譲住宅事業だけでなく、グループ会社のポラテックなどを中心として注文住宅事業にも注力している。「PO HAUS」といったブランドを展開しており、豊富な経験とノウハウを備えたデザイナーが在籍している。こうしたデザイナーの強みを活かし、新築住宅並みのデザイン提案を推進していく。また、分譲住宅事業における商品企画を参考にしながら、最新のトレンドを踏まえた空間提案などにも注力。既存住宅を購入し、大規模なリノベーションを行う場合、ポラスグループが供給している分譲住宅を見学し、その住宅と同じようなデザインにして欲しいという要望が寄せられることもあるという。そこで、分譲住宅の商品企画を参考にしながら、ある程度まで仕様や商品をパッケージ化した形での提案も検討していく。そのために、埼玉県越谷市にある住宅資材センターのショールームを今春リニューアルオープンし、リフォーム専用の展示を行う。分譲住宅でも使用している商品や仕様を参考にしながら、リフォーム後のイメージが把握しやすいよう配慮していく計画だ。

グループの購買部門と一体となり分譲住宅事業と同じ商品などを採用することで、調達面でのメリットも創出でき、コストパフォーマンスを高める効果も期待できそうだ。